

No.	質問日	質問者	案件	質問内容	回 答	回答所属 (部課名)
1	12月7日	田島 特別部会員	審議・調査事項2	居宅訪問型保育利用の定員確認について 来年度から開始予定の本事業について、現在対象となる児童数はおよそ何名程度と区では把握していますか。また、この事業の周知はどのような方法で行っているのでしょうか。	現時点で、把握している対象児童数は3名です。 本事業の周知は、区HPや『保育施設利用申込案内』への掲載、チラシ配架にて行っています。また、『令和8年度版あだち子育てガイドブック』に掲載する予定です。	子ども家庭部 幼稚園・地域保育課
2	12月7日	田島 特別部会員	報告事項1	あだち放課後子ども教室の民間事業者への委託について 民間事業者へ委託するにあたり、これまで従事してきたスタッフは引き続き従事することが可能でしょうか。 また、民間事業者へ委託することによるメリット・デメリットはどのように整理されていますか。	民間事業者からは、現スタッフが身に付けたスキルや児童との良好な関係性を可能な限り引き継ぎたい意向があると聞いています。すでに現スタッフに対し雇用条件等の説明会を開催する動きもありますので、これまで従事してきたスタッフが引き続き従事する可能性はあると考えています。 民間事業者へ委託することのメリットは、事業を持続的かつ安定的に運営できることです。反対にデメリットは費用面と認識しています。	学校運営部 青少年課 子ども家庭部 学童保育課 足立区生涯学習振興公社
3	12月7日	田島 特別部会員	報告事項2	10年間の成果と課題について 「令和6年度は、区立園・公設民営園の虫歯患率が増加に転じている」とありますが、その要因について区としてどのように分析されていますか。	6年度区立園、公設民営園の年長児の新たにむし歯になった歯の1位・2位は、左右の下のお歯でした。 奥歯は溝が深く、歯垢（プラーク）がたまりやすいため、仕上げみがき・フッソの活用・甘味習慣のコントロール等、啓発を強化していきたいと考えております。	子ども家庭部 子ども政策課
4	12月7日	田島 特別部会員	報告事項4	こども誰でも通園制度 実施に向けた論点について (1) 対象児童を「生後6か月から」とした理由は何でしょうか。 子育て当事者としては、夜泣きなどで大変な時期でもあるため、より早い月齢から利用できたほうが保護者の負担軽減につながると感じています。	こども誰でも通園制度は、こどもの良質な成育環境の提供を第一の目的としております。国の実施要綱で「0歳6か月から」と示しており、安全面や家庭では得られない環境や経験をこどもに提供すると考えると、0歳6か月からが妥当であると思われます。 0歳6か月までのこどもについては、「定期検診」や「こんにちは赤ちゃん訪問事業」等の伴走型支援がございますので、それらを通じて支援をして参ります。	子ども家庭部 保育・入園課 私立保育園課 幼稚園・地域保育課
5	12月7日	田島 特別部会員	報告事項4	(2) 就労要件を問わずに保育を利用しそうな世帯数について、現時点でどれほど見込んでいるのでしょうか。足立区として具体的な見込み数を把握していますか。	対象となる児童は約3,800人と想定しております。また、過去に保護者へ行ったアンケートでは、こども誰でも通園制度を「利用してみたい」との回答が46.6%であったため、利用しそうな児童は約1,800人を見込んでおります。	子ども家庭部 保育・入園課 私立保育園課 幼稚園・地域保育課

No.	質問日	質問者	案件	質問内容	回 答	回答所属 (部課名)
6	12月7日	田島 特別部会員	報告事項4	(3)1カ月10時間という利用枠の設定根拠は何でしょうか。 子育て当事者からは、児童にとっても保護者にとっても短く感じられます。 また、区としては1日あたり何時間の利用、月に何回の利用を想定しているのか伺いたいです。	こども誰でも通園制度について、国が10時間と示しております。これは全国的な保育士不足や制度開始直後であることを踏まえた対応と聞いており、区においても意向調査等の結果から、令和8年度当初は10時間が適切と考え検討しております。 他自治体が実施したアンケートでは、毎週1日2～3時間との回答が多かったため、区でも毎週1日2.5時間での実施を想定しております。	子ども家庭部 保育・入園課 私立保育園課 幼稚園・地域保育課
7	12月7日	田島 特別部会員	報告事項4	(4)現在、区内では認証保育園や幼稚園の満3歳児クラスなど、就労要件を満たさなくても利用できる預け先が増えている状況があります。 このような中で、今回の「こども誰でも通園制度」が主に想定している対象者像(メインターゲット)はどのような世帯でしょうか。	メインターゲットは以下の3つを想定しています。 ①家庭内で保育しているが、保育所等に定期的に通わせることで、こどもの成長を促したい世帯 ②子育てによる、孤立感や不安感を解消したい世帯 ③幼稚園入園に向けたプレ保育としての利用を希望する世帯	子ども家庭部 保育・入園課 私立保育園課 幼稚園・地域保育課
8	12月7日	田島 特別部会員	情報連絡事項1	アダチ若者会議について 参加希望者はどれくらいの人数がありましたか。また、倍率が高かったなどの状況はありましたか。	今年度の公募版「アダチ若者会議」は、2回開催し、状況は以下の通りとなります。 1 7/11「キミも。ミーティング～環境編～」 (1)定員 15名程度 (2)申込者数 20名 (倍率1.33倍) (3)当日参加者数 11名 ※4名欠席 2 10/19「キミも。ミーティング～みんなの居場所編～」 (1)定員 10名程度 (2)申込者数 6名 (倍率0.6倍) (3)当日参加者数 4名 ※2名欠席	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課
9	12月7日	田島 特別部会員	情報連絡事項3	区有施設等の無料化について (1)各施設の利用者合計が示されていますが、他月と比較してどれほど利用率が上昇したのか教えてください。	夏休み以外の対象施設を利用した子どもの人数は把握していないため、比較ができません。 ※参考: R7夏休み利用者数:69,917人	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課
10	12月7日	田島 特別部会員	情報連絡事項3	(2)また、無料化を行わなかった年の同時期(夏)と比べて、どの程度の利用率となったのでしょうか。	R5(無料化未実施)とR7夏休みの施設利用者数の比較は、以下の通りとなります。 R5夏休み利用者数:36,049人(銭湯と郷土博物館を除く) R7夏休み利用者数:69,917人 ※参考:R7銭湯利用者数23,652人 R7郷土博物館利用者数35人	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課

No.	質問日	質問者	案件	質問内容	回 答	回答所属 (部課名)
11	12月7日	田島 特別部会員	情報連絡事項3	〈意見〉 区内の銭湯に未就学児と一緒にいった際、通常は使用できる「子育てパスポート」が無料化期間には使えず、結果として子どもは無料になったものの、保護者分を全額支払う必要があり、家庭としての負担はむしろ増えてしまいました。 未就学児や低学年の子どもが利用する場合は保護者の付き添いが必須であるため、「子どもだけ」ではなく「世帯全体」で負担を考慮した施策設計をしていただきたいです。	区内銭湯での「子育てパスポート」の利用につきましては、平時より他の割引サービスとの併用はできない運用となっております。 また、「子育てパスポート」の割引は大人20円、子ども10円の割引です。無料化期間中については、サービスの併用ができず、大人は通常料金となりますが、18歳以下の子ども料金(100円～520円)が無料化されるので、親子利用時においては相対的な負担軽減につながっていると認識しております。	学校運営部 青少年課 あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課